

番号	30 - 23	申請者	リウマチ科部長 森 俊輔
<p>【審査申請課題】 関節リウマチ(RA)に対するトファシチニブ治療におけるメトトレキサート(MTX)治療の影響に関する研究(オープンラベル前向き多施設共同観察研究)</p>			
<p>【審査課題の概要】 現在、関節リウマチに対する薬物治療の中心的薬剤はメトトレキサート(MTX)である。MTX導入3-6ヶ月に低疾患活動性に達していない場合、速やかに生物学的製剤あるいはJAK阻害薬治療を併用して開始するという戦略で治療を行うことが推奨されている。しかしながら、腎機能低下等の理由でMTXが服薬できない患者もいることや最近、MTX関連リンパ増殖症発生の増加が問題となっている。さらに、海外においてMTXに対するアドヒアランスが非常に悪いという状況のなか、生物学的製剤やJAK阻害薬単剤での治療が好まれるようになった。生物学的製剤のなかでは、抗IL-6受容体抗体トシズマブ治療では、MTX併用の必要のないことが、我々の研究グループの報告も含め、確立しつつある。今回、JAK阻害薬治療におけるMTX併用の意義について検証する。実臨床に基づいた多施設共同観察研究である。</p>			
審査結果	承認 (平成31年2月15日)		